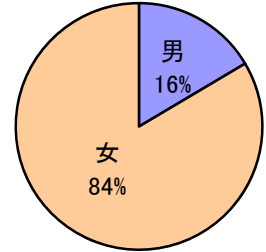
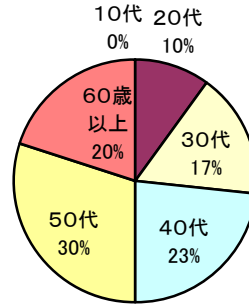
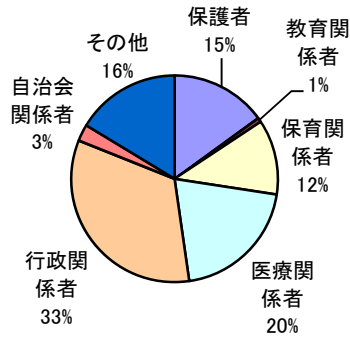


## 9月11日開催「子どもを守る医療応援シンポジウム」参加アンケート調査結果(概要)

○シンポジウム参加者:350名

○アンケート回収:152名(回収率43.4%)

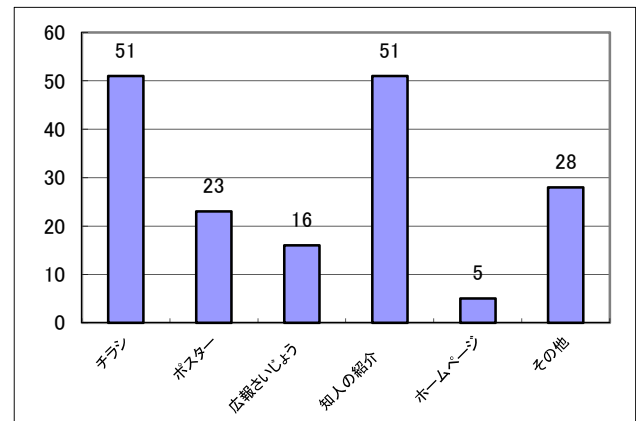
○アンケートに協力いただいた152名の内訳



### 1. 何を見てシンポジウムを知ったか？

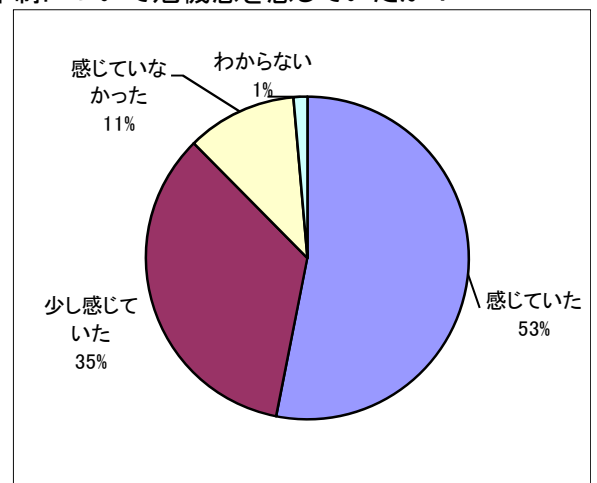
チラシを見て知ったが多く、保育所、幼稚園、医療機関等にチラシ10000枚を配った効果が現れた。

また、その他では職場から知らされた人が多かった。



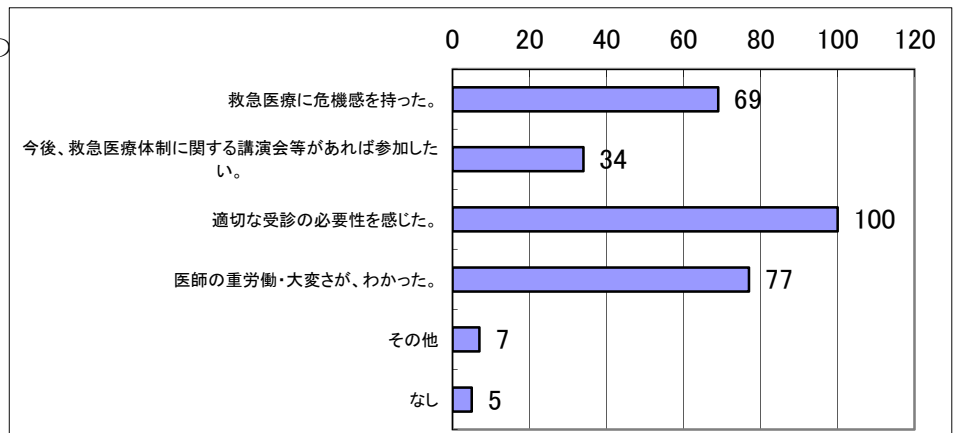
### 2. 今回のシンポジウムに参加するまで、地域の救急医療体制について危機感を感じていたか？

感じていた54%、少し感じていた34%で約9割の人が危機感を持っていた。



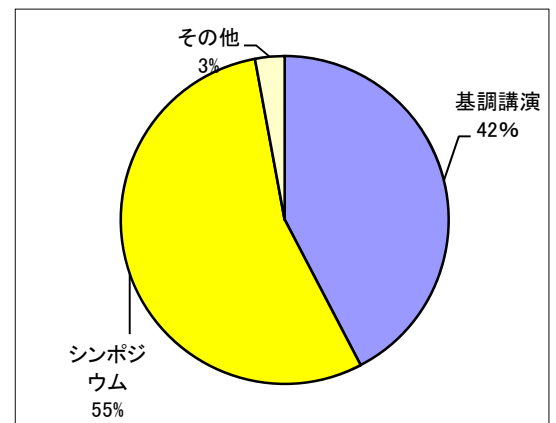
### 3. 今回の参加で救急医療への認識変化は？

適切な受診の必要性が改めて多くの参加者に理解された。また、医師の大変さが多くの参加者の共感を得た。



### 4. 今回のシンポジウムで一番の印象は？

基調講演「～橋を架けようNPO法人地域医療を育てる会の取り組み～」、シンポジウム、共に多くの関心が寄せられた。



### 5. これからの救急医療体制の維持・確保のためには何が最も大切か？

医療・住民・行政が一体となった取り組みが40%と最も多く適正な受診に努めるが22%と続いた。

